

北九州市津波ハザードマップ



あわせて、「北九州市防災ガイドブック」を確認しておきましょう。避難に活用できる気象情報・水位情報や非常持ち出し品リストなど、より詳しい内容を掲載しています。

防災ガイドブック掲載 URL

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kiki-kanri/13801096.html>



発行 平成 29 年 2 月
 問い合わせ先 北九州市危機管理室危機管理課
 〒803-8501 北九州市小倉北区城内 1-1
 TEL : (093)582-2110

津波避難の心得

まずは地震から身を守り、揺れや津波情報をきっかけにできるだけ早く、高いところへ避難しましょう。いざというときに安全に避難できるように、日頃から揺れへの備えや避難場所の確認をしておきましょう。



- 緊急地震速報を見聞きしたら...
- 揺れを感じたら...

身の安全を確保



テーブルなどの下で頭を保護

津波情報の種類と情報毎のとりべき行動

大津波警報(特別警報)や津波警報を見聞きしたら...

沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに安全な場所へ避難してください。

津波注意報を見聞きしたら...

海の中にいる人は、直ちに海から上がって、海岸から離れてください。

※大津波警報や津波警報は携帯電話などに自動的に配信される緊急速報メール(エリアメール)や登録制防災メールでも配信します。

登録方法はこちら

- 津波情報を見聞きしたら...
- 津波情報がなくても、大きな揺れやゆっくりとした長い揺れを感じたら...

- 避難が遅れてしまったら...
- 津波が迫ってきたら...

津波情報が解除されるまで避難を続ける

原則 / 早めの避難

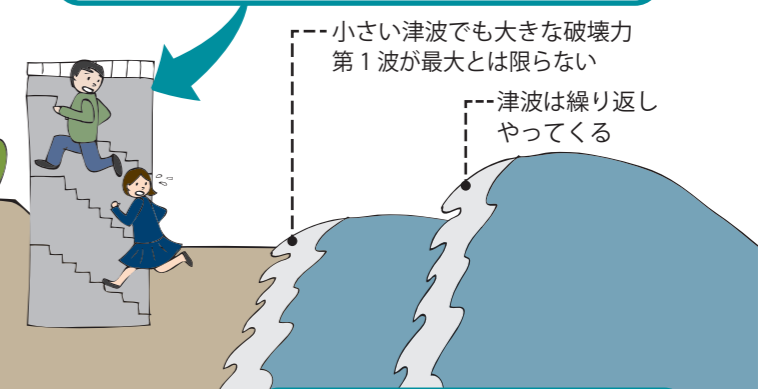
できるだけ早く、高いところへ

浸水想定区域の中にお住まいの方は揺れや津波情報をきっかけに直ちに高いところへ避難しましょう。浸水想定区域の外にお住まいの方も浸水想定区域に近づかず、想定外に備えましょう。



逃げ遅れたら / その場そのときで命を守る行動を

津波が見えてから遠くへ逃げても間に合わないため、近くにある少しでも高い頑丈な建物、高い場所へ駆け上がる



早い段階での避難先

避難できる高いところを記入しましょう。

記入欄

裏面を参考に、避難所に限らず、お住まいの地域の状況を確認し、2つの避難先を記入欄に記入しましょう。

逃げ遅れたときの避難先

近くにある高い頑丈な建物や高い場所を記入しましょう。

記入欄

対象津波の設定について

- このハザードマップは、平成 28 年 2 月に福岡県が公表した最大クラスの津波の浸水想定を基に作成しています。
- 裏面の津波の想定浸水深は、以下の浸水想定結果のうち、最も深くなる浸水の様子を示したものです。
- 津波の浸水域や浸水深、到達時間はあくまで目安です。実際の津波は、想定よりも大きくなったり早く到達したりする可能性があります。

対象津波	津波到達までの時間	最大津波の到達時間とその水位
海底活断層による津波		
対馬海峡東の断層 (マグニチュード7.4)	福岡県から想定が公表されていませんが、津波情報を見聞きしたら、早めに避難しましょう。	
西山断層帯 (マグニチュード7.6)	福岡県から想定が公表されていませんが、津波情報を見聞きしたら、早めに避難しましょう。	
周防灘断層群主部 (マグニチュード7.2)	地震発生から約40分後	地震発生から約50分後 最大津波水位 3.2m
南海トラフの巨大地震 (マグニチュード9.1)	地震発生から約3時間10分後	地震発生から約3時間50分後 最大津波水位 3.5m

津波の高さ
津波がないときの海面が、津波によって上昇する高さです。気象庁の津波予報はこの高さを発表します。

津波水位
津波の水位を標高で示したものです。

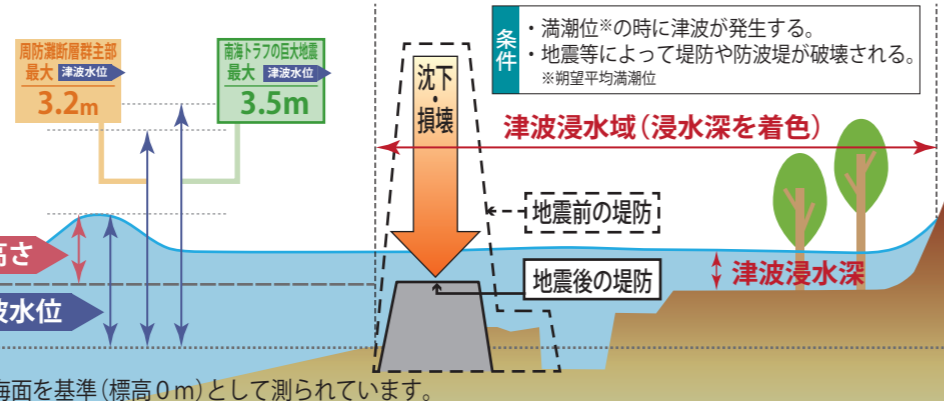
満潮位 (朔望平均満潮位)

標高 0m 東京湾平均海面 (T.P.)

津波の高さ

津波水位

日本の土地の高さ(標高)は、東京湾の平均海面を基準(標高0m)として測られています。



条件
 ・満潮位※の時に津波が発生する。
 ・地震等によって堤防や防波堤が破壊される。
 ※朔望平均満潮位

災害情報メール配信サービス <利用には空メール送信による登録が必要です>

もらって安心災害情報配信サービス(北九州市)
 気象情報、避難情報、地震情報や消防車の出動等
 登録メール e-kitakyushu@xpressmail.jp



防災メール・まもるくん(福岡県)
 気象情報、避難情報、災害時の安否情報通知、避難支援マップ等
 登録メール mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp



津波避難の3原則 ～3.11東日本大震災の教訓～

平成23年に発生し、2万人近い方が犠牲になった3.11東日本大震災。岩手県釜石市の子どもたちは避難の3原則を“実践”して、大津波から自分の命だけでなく、地域の人の命も守りました。

最善をつくす

「僕はいいから逃げろ」と言う義足の友人をおぶって400m先の高台へ逃げた。(小学6年生)

想定にとられない

家が浸水想定区域外にあったため、逃げようとしないうじいちゃんと目が不自由なおばあちゃんに「想定どおりにはならない。お願いだから“逃げよう”」と訴え、家族の命を救った。(小学4年生)

率先避難者たれ

部活動中に地震が起き、揺れがおさまった後、「津波が来るぞ、逃げるぞ」と叫び、隣の小学校や周りの住民を巻き込んで避難し、結果的にたくさんの人の命を救った。(釜石東中学校の生徒達)



凡例 (平成29年2月現在)

避難場所 津波対応のみ

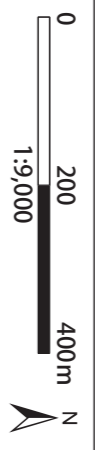
- 予定避難所
- 一時避難地 (○○公園)
- 広域避難地 (○○公園 (広))

- 土砂災害
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

※地震により土砂災害が発生する可能性が
あります。避難計画の参考としてください。

- 🚒 防災スピーカー
- 🚒 防災スピーカー

0.0 標高点 (海拔)

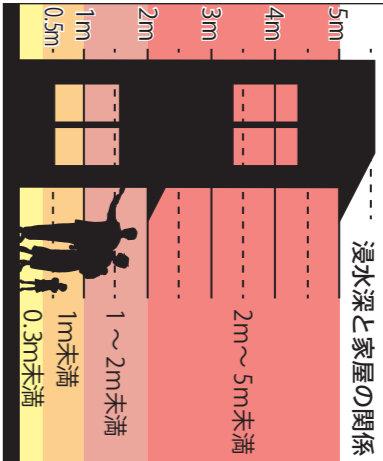


この北九州市津波ハザードマップは、北九州市長の承認を得て、都市計画課所管の測量成果を使用して作成したものである。(承認番号平成28年度北九建都計都第271号)

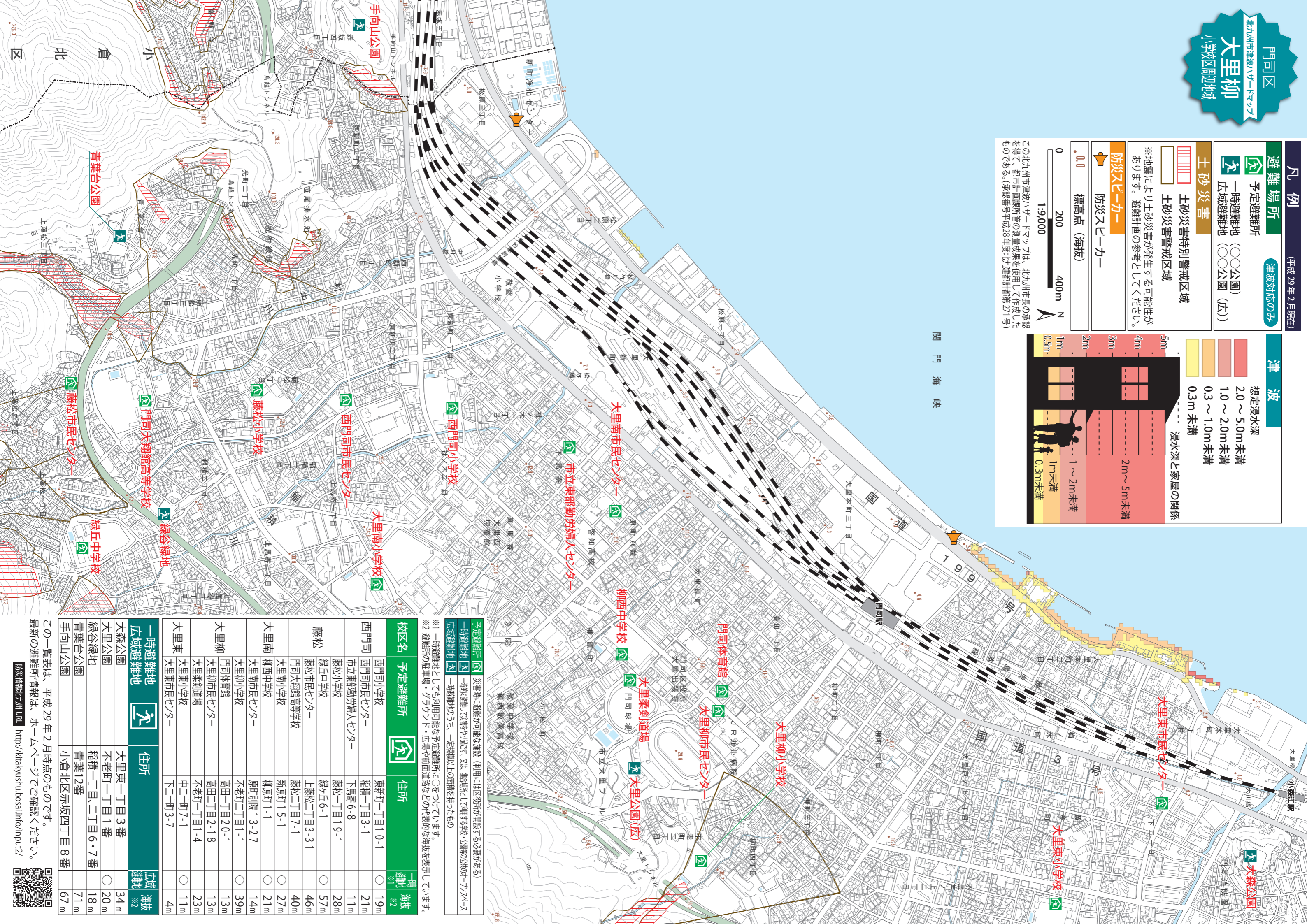
津波

想定浸水深

- 20 ~ 5.0m 未満
- 1.0 ~ 2.0m 未満
- 0.3 ~ 1.0m 未満
- 0.3m 未満



関門海峡



予定避難所 災害時に避難可能な施設 (利用には区役所が開設する必要がある)
一時避難地 奇跡に避難して災害や道です。又は、船舶として利用する学校・公園等の公共のオープンスペース
広域避難地 一時避難地のうち、一定規模以上の面積を持ったもの

※1 一時避難地としても利用可能な予定避難所に○をつけています。
※2 避難所の駐車場・グラウンド・広場や前面道路などの代表的な海拔を表示しています。

校区名	予定避難所	住所	一時避難地 ※1	海拔 ※2
西門司	西門司小学校	東新町一丁目10-1	○	19m
西門司	西門司市民センター	稲積一丁目3-1		21m
西門司	市立東部勤労婦人センター	下馬寄6-8		11m
藤松	藤松小学校	藤松一丁目19-1		28m
藤松	緑丘中学校	緑ヶ丘6-1	○	57m
藤松	藤松市民センター	上藤松二丁目3-31		46m
大里南	門司大翔館高等学校	藤松二丁目7-1		40m
大里南	大里南小学校	新原町15-1	○	27m
大里南	柳西中学校	柳原町1-1	○	21m
大里南	大里南市民センター	原町別院13-27		14m
大里柳	大里柳小学校	不老町二丁目1-1		39m
大里柳	門司体育館	高田一丁目20-1		13m
大里柳	大里柳市民センター	高田二丁目2-18		13m
大里東	大里柔剣道場	不老町一丁目1-4		23m
大里東	大里東小学校	中二十町7-1	○	11m
大里東	大里東市民センター	下二十町3-7		4m
一時避難地	広域避難地			
大森公園	大里東一丁目3番			34m
大里公園	不老町一丁目1番		○	20m
緑谷緑地	稲積一丁目、二丁目6・7番			18m
青葉台公園	青葉12番			71m
手向山公園	小倉北区赤坂四丁目8番			67m

この一覧表は、平成29年2月時点のものです。
最新の避難所情報は、ホームページでご確認ください。
防災情報URL <http://ktakyushu.bosai.info/npuc2/>

